

ことば村ニュース



2014年1月

2014年の幕開け、いかがお過ごしですか。ことば村は、1月11日の市民講座「方言のチカラ」から活動開始。めぐろボランティアセンターとの共催で、最近再評価されている「方言」の現在、方言の表現力についての講演と民話朗読を楽しみました。

★「方言のチカラ」報告

日時：1月11日（土）14：00～15：30 会場：中目黒青少年プラザレクリエーションホール

共催：目黒ボランティアセンター

講師：篠崎晃一先生（東京女子大学教授：方言学・社会言語学）

朗読：高橋正彦氏（演劇集団たつのおとしご会）

篠崎先生が方言調査のために考案した「出身地鑑定方言チャート」が思わぬヒットになったことから始まり、各地のおもしろい方言の実例をたくさんあげながら、方言でなくては表現できない思いまで楽しい講演が展開されました。その後秋田の民話「笠地蔵」を標準語と秋田弁で高橋さんが朗読。方言のしみじみした温かさに、参加者が感動しました、と口々に語ってくれました。

★1月、2月の「ことばのサロン」はー

1月：「ヴェトナムのことば」あるいは「在日ヴェトナム人コミュニティについて」

話題提供：安達真弓先生（東京大学・日本学術振興会特別研究員）

日時：2014年1月25日 会場：中目黒青少年プラザ会議室

2月：「日本文化のカタリとハナシー日本の民俗文化におけるハナシ・カタリ・ヨミ・トナエ等の口承文芸の伝統と話芸について」

話題提供：飯倉義之先生（國學院大学）

日時：2014年2月15日 会場：中目黒青少年プラザ視聴覚教室

★日本語・ポルトガル語対訳絵本副教材いよいよ印刷へ

東京女子大学学生朗読グループ「ばずる」との協働で、全日本社会貢献団体機構の助成をいただき、在日ブラジル人児童の母語保持に役立つ副教材を制作していますが、翻訳・編集作業を終え、いよいよ印刷所へ送って、2月初旬には出来上がる予定です。全国のブラジル人学校へ無償配布するほか、「ばずる」のみなさんが母語保持教室へ朗読に行ってくれる予定です。在日ブラジル人児童がバイリンガルという財産が持てるように応援していくプロジェクトです。皆様も口コミで広げてくださいますようお願いいたします！

★ホームページ「世界の文字」「ベラルーシことばだより」「フランス・リヨンだより」ぜひご覧ください！

会員の稲垣徹さん寄稿の「世界の文字」が毎月拡充中。ぜひお楽しみください。

http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html

運営委員の柴田賢さん、佐野彩さんがそれぞれ留学先からことばに関する現地エッセイを寄稿中。

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131030.html>

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131124.html>

★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

活動は順次サイトで報告いたします。

★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容でお届けしています。

申込はー

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>